
能代市公共施設白書

平成 28 年 9 月

能代市

目次

公共施設白書について	1
第1章 能代市の概要	2
1 市の概況	2
2 本市の地区と人口重心	3
3 人口動向	4
4 財政状況	5
第2章 公共施設の状況	19
1 対象施設の類型分類	19
2 公共施設の整備状況	21
3 公共施設のストック状況	24
4 公共施設のコスト状況	27
第3章 公共施設の更新費用推計	35
1 公共施設の将来の更新費用試算の前提	35
2 公共施設の将来の更新費用試算結果	38
第4章 公共施設類型分類別の分析	39
1 集会施設の状況	44
2 文化施設の状況	51
3 図書館の状況	53
4 博物館等の状況	55
5 スポーツ施設の状況	59
6 観光施設の状況	70
7 産業系施設の状況	76
8 学校の状況	82
9 その他教育施設の状況	91
10 幼保・子ども園の状況	95
11 幼児・児童施設の状況	99
12 高齢福祉施設の状況	104
13 障害福祉施設の状況	108
14 児童福祉施設の状況	110

15 保健施設の状況.....	112
16 医療施設の状況.....	114
17 庁舎等の状況.....	118
18 消防施設の状況.....	124
19 その他行政系施設の状況.....	128
20 公営住宅の状況.....	132
21 公園付属建築物の状況.....	136
22 供給処理施設の状況.....	138
23 その他施設の状況.....	142
第5章 公共施設地区別の分析.....	148
1 公共施設類型分類による地区別の施設配置状況.....	148
2 公共施設地区別の分析.....	149
(1) 本庁地区の分析.....	149
(2) 榑地区の分析.....	153
(3) 向能代地区の分析.....	156
(4) 扇淵地区の分析.....	160
(5) 檜山地区の分析.....	163
(6) 鶴形地区の分析.....	166
(7) 浅内地区の分析.....	169
(8) 常盤地区の分析.....	172
(9) ニツ井地区の分析.....	175
(10) 富根地区の分析.....	180
第6章 公共施設の課題と今後の取り組み.....	183
1 公共施設の課題.....	183
2 能代市の今後の取り組み.....	185

公共施設白書について

1) 公共施設白書作成の目的

本白書は、公共施設の保有状況、将来必要となる更新費用、施設ごとの延床面積、利用度、維持管理経費等を明らかにすることを通じて、今後の公共施設のあり方の検討を行うための基礎資料となるものです。

また、施設の機能・運営状況・代替施設の有無及び将来の人口動態等も踏まえて、全体的な視点の中で統廃合も含めた適正配置や、計画的な保全、公共施設等の有効活用を図ることにも活用していきます。

本白書は、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための「公共施設等総合管理計画」の策定に当たっての基礎データを提供するものでもあります。

2) 白書で対象とする施設

本市は、庁舎、小中学校、文化施設、スポーツ施設等多岐にわたる公共施設を保有しています。

本白書では、市が所有する全ての公共施設を対象とします。なお、道路・橋梁・上下水道施設等の公共インフラを除きます。

3) その他

① 端数処理について

本白書で取り扱う数値は、金額については単位未満で切り捨て、延床面積等については単位未満で四捨五入の端数処理を基本としています。このため、表記される合計と一致しない場合があります。

② 調査時点について

本白書に掲載する数値は、平成 27 年 3 月 31 日時点あるいは平成 26 年度 1 年間を基本としていますが、それ以外の情報を利用する場合は、注記しています。

③ % (パーセント) 表記について

「% (パーセント)」表記は基本的に小数第 2 位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。

④ 複合施設の計上について

複合施設は、それぞれの分類毎に施設数を計上しているため、実際の施設数とは一致しません。